

各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡
 (J A S D A Q ・ コード 5 2 1 6)

問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取 締 役 経 理 部 長 関 根 紀 幸
 電 話 0228 32 5111

平成 18 年 12 月 期 業 績 予 想 (連 結 ・ 単 独) の 修 正 及 び
 期 末 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 10 日付当社「平成 18 年 12 月 期 第 3 四 半 期 財 務 ・ 業 績 の 概 況 (連 結)」において公表いたしました、平成 18 年 12 月 期 (平 成 18 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日) の 業 績 予 想 (連 結 ・ 単 独) 及 び 期 末 配 当 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

1 . 平 成 18 年 12 月 期 通 期 単 独 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 18 年 1 月 1 日 ~ 平 成 18 年 12 月 31 日)
 [単 独] (単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	加 工 売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り の 期 末 配 当 金
前 回 予 想 (A) (平 成 18 年 11 月 10 日 公 表)	24,000	14,500	150	70	5 円 00 銭
今 回 予 想 (B)	22,964	11,952	17	3,878	00 円 00 銭
増 減 額 (B - A)	1,036	2,548	133	3,948	5 円 00 銭
増 減 率	4.3%	17.6%	88.7%	-	-
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 17 年 12 月 通 期)	21,946	11,068	1,665	2,403	00 円 00 銭

「加工売上高」は、売上高から材料費を除いたもので利益との相関が高いため開示しております。

2 . 平 成 18 年 12 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 18 年 1 月 1 日 ~ 平 成 18 年 12 月 31 日)
 [連 結] (単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A) (平 成 18 年 11 月 10 日 公 表)	33,000	50	30
今 回 予 想 (B)	36,830	289	4,123
増 減 額 (B - A)	3,830	339	4,153
増 減 率	11.6%	-	-
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 17 年 12 月 通 期)	30,785	1,095	2,222

3. 通期業績予想修正の理由

単独

当社の製品区分のうち、[液晶ガラス基板加工品]の加工売上高は、前年対比では増加するものの、ワールドカップ後の、特に中小型をメインとした LCD 市場の生産調整、大型ガラス基板のガラス起因によるアウトプットの減少等により、予想を下回る見込みであります。[成膜ガラス基板]の加工売上高は、中小型 LCD 市場の生産調整と内製化の影響を受け、カラーフィルタ向け成膜加工品の受注が減少しました。これらの結果、加工売上高で 2,548 百万円の未達となる見込みであります。

収益面におきましては、加工売上高の大幅減少により営業損益は赤字の見込みであります。電子部品業界の活況を受けた子会社の業績好調を背景に、これら子会社からの受取配当金が増加したことから経常利益は黒字を確保いたしました。当期純損益は、特別損失に成膜ガラス基板関連の生産設備等の減損損失 3,297 百万円を計上したことから、3,878 百万円の損失となる見込みであります。

連結

主として単独の業績悪化によるものでありますが、一部の子会社でも減損損失を計上したため、当期純損益は公表数値に対し 4,153 百万円悪化し、4,123 百万円の損失となる見込みであります。

4. 期末配当予想の修正理由

上記に伴い、1 株当たりの期末配当金を 5 円 00 銭と発表しておりましたが、当期純損失の計上に伴い今期無配とさせていただきます。

以上

[業績等の予想に関する注意事項]

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化により、この資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。